

2026(令和8)年度

文化学部 専門教育科目 「文化観光フィールド演習」 募集要項



「文化観光フィールド演習」について

教室での講義（座学）・学習と、京都の街中で実施するフィールドワークでの実践型演習とで構成する、文化観光学科独自のユニークな演習科目です。

学生ひとりひとりが京都の地場産業や伝統文化、地域文化等の現地調査を行います。

目の前のテーマに集中して取り組むことで、体験を通じて京都とその文化観光の一端を理解するとともに、地域社会の活性化に向けた思考・態度や観光事業への新たな視点の獲得を目指します。

京都文化・文化観光の真髄に触れ・体感し、真のおもてなしの心を身に付け、文化観光を自分の言葉で発信できる人になりましょう。

文化観光学科 必修科目 です。

いずれかの演習を履修・修得しなければなりません。

➤演習担当教員一覧（申請書記入の際に必要です） ※50 音順

担当教員	開講期	曜日・時限	備考
奥野 圭太朗	春学期	木・4	
高崎 邦子	春学期	木・4	
寺岡 伸悟	春学期	火・4	
中野 宏幸	春学期	金・5	
前田 尚武	春学期	木・5	
山本 芳華	春学期	木・5	
若村 亮	春学期	木・5	

申請

【申請方法】

WEBによる申請(パソコン、スマートフォン等、WEBが利用できる環境が必要です。)

※WEBによる申請が難しい場合は、3月18日(水)16:30までに下記、文化学部事務室に問い合わせください。

■「文化観光フィールド演習」申請

<https://forms.office.com/r/3bJRSGRi0b> ※リンク先は、申請期間中のみオープンします。



(WEB申請フォーム)

申請期間:2026(令和8)年3月11日(水)10:00~3月21日(土)12:00まで(厳守)

※申請期間後の申請及び内容変更は一切認めません。

【受講クラスの発表:2026(令和8)年4月1日(水)】

WEB履修登録画面で、登録されているフィールド演習のクラスが受講するクラスになります。

※詳細は、新入生オリエンテーションで説明します。

留意事項

(1) フィールドワーク実施に伴う支援

学外でのフィールドワーク1回の実施につき活動費を一部支援します。

受け取り方法等については、担当教員に確認してください。

(2) フィールドワーク実施に伴う拝観料等

実習・見学先等の拝観料・入場料等が必要な場合は、自己負担となります。

※「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」の登録(無料)により、割引などの優待を受けることのできる文化施設等があります。

(3) 授業に関する連絡

フィールドワークの実施をはじめ授業に係る連絡事項は、原則、授業内で伝達します。ただし、突発的な注意事項や連絡事項等が生じた場合、電子掲示板POSTを通じて伝達しますので、1日1回は確認するようにしてください。

※電子掲示板POSTについては、新入生オリエンテーションで説明します。

《問い合わせ先》

京都産業大学 文化学部事務室

TEL:075-705-1941

Mail:bunka-jim@star.kyoto-su.ac.jp

受付時間等:月~金 9:00~16:30(13:00~14:00は除く)、土 9:00~12:00

※日・祝日は閉室しています。

※上記時間帯でも業務の都合により、急遽閉室することがあります。

【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員： 奥野圭太郎 専門分野：サブカルチャー観光学 観光社会学	<この文化観光フィールド演習の特徴> 大学入学を機に京都で文化観光を学びたいという皆さんに、まずは京都の神社を好きになってもらい、それと同時に、様々な神社がそれぞれの課題を抱えていることを、改めて認識してもらうきっかけを与えたいと思っています。
定員		
約 15 名		
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の神社が好きで本学文化学部文化観光学科に進学を決めたという学生さん。 ・京都の神社が抱える様々な問題を知り、同時に、将来可能性も探してみたいという学生さん。 ・文学・アニメ・ゲームなどのコンテンツと京都の神社の結びつきが連想できる学生さん。 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社は街に溶け込む空間であると同時に、神聖な場所でもある。礼節を弁えた服装、身だしなみでの参加を求める。肌の露出が非常識に多いなど、極端に逸脱した服装の場合は是正を求めることがあります、従えない場合はフィールドワークに参加をさせないことがある。 ・神社境内は神聖な場所であり、礼節を弁えた行動、振る舞いを要求する。万一従えない場合は退場させることがある。 <p>【スケジュール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1回目 ガイダンス・自己紹介・班分け 2回目 神社や文化観光の基本概念説明 3回目 大学における情報の探し方とメディアリテラシー 4回目 フィールドワーク1回目に向けた事前学習 5回目 (フィールドワーク1: 粟田神社) 粟田神社+蹴上周辺の見学 6回目 フィールドワーク1回目の振り返り 7回目 京都の神社・文化観光全体像の講義 8回目 フィールドワーク2回目への事前学習 9回目 (フィールドワーク2: 野宮神社) 野宮神社+嵐山の竹林の見学(宮司解説を予定) 10回目 フィールドワーク2回目の振り返り 11回目 フィールドワーク2回分のまとめ+グループディスカッション+プレゼン作成開始 12回目 プレゼン作成(班ごと) 13回目 プレゼン作成(班ごと)とプレゼンリハーサル 14回目 班ごとにプレゼンテーション <p>★オンデマンド回 プレゼンテーションの振り返り、授業全体のまとめ</p> <p>※フィールドワークの回は、原則としては授業と同日の授業時間やや遅め(16時集合を想定)から現地集合で実施する。集合場所を指定するので留意すること。</p> <p>【注意事項・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この科目は演習科目です。観光旅行に行くものではありません。そこを履き違えないこと。 ・演習科目という特性上、出席回数の少ない学生さんについては、単位を認定できません。 ・フィールドワーク実施日は、先方の都合や悪天候の予報(暴風雨など)などで予定がずれることもあり得ます。その場合は連絡しますので注意しておいてください。 ・初回で必ず自己紹介をさせます。これも一種の「プレゼンテーション」と考え、必要なら準備すること。その際、過度に音の出ないものに限り、小道具程度のものは持ち込みを認めます。 ・後半のプレゼン作成には時間がかかる。授業時間内のみで完結できるとは決して思わぬこと。 ・後半のプレゼン作成の資料集め等に、自分たち自身で更に別の神社等へも訪問してもらう必要が出てくる場合もある。そのような場合は休日等を利用し、積極的に訪問してみる。 <p>【実習にかかる費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドに行く際、基本的には交通費がかかります。(大学より一部補助有り) ・神社参拝の際に、常識的な範囲での賽銭等が必要となります。 ・ご自身でさらに神社を深く調べようとする際に、拝観料などが必要な場合があります。 		

【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員： 高崎 邦子	<p>＜この文化観光フィールド演習の特徴＞</p> <p>京都は千二百年以上の歴史の中で、豊かな文化と伝統を育んできました。本演習では、寺社や町家、祭や工芸など、現地でしか味わえない文化資源を体験しながら学びます。教室での勉強にとどまらず、実際に現地を歩き、地域の人びとと交流し、自分の目で確かめることで「文化観光」のリアルを体感できる授業を行います。</p>
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

- ・歴史や文化を“教科書の知識”ではなく、実際に自分の体験として学びたい人
- ・観光の現場を体感し、将来の進路や研究に役立てたい人
- ・チームで活動し、調査や発表を通して達成感を味わいたい人
- ・京都が好き！文化が好き！旅行が好き！という気持ちを持っている人

【受講するうえで、守るべきこと】

- ・チームで行動するため、時間や約束を守ること
- ・調査対象地域や関係者の方々に敬意を持って接すること
- ・安全第一を心がけ、無理のない行動をすること
- ・フィールドワークは授業の一環です。観光気分に参加するのではなく、「学びの場」として取り組むこと

【スケジュール】

前半（学内）：京都の文化や観光資源について学び、調査計画を立てます。

中盤（現地）：京都でのフィールドワーク。寺社・町家・観光施設などを訪問し、地域の人々と交流します。

後半（まとめ）：調査内容を整理し、グループごとに成果を発表します。

※実際の訪問先やスケジュールは調整中ですが、「行って終わり」ではなく「準備・体験・まとめ」の流れをしっかりと体験できる構成です。

【注意事項・その他】

- ・フィールドワークは土日を含む場合があります。柔軟に予定を調整できる人が望ましいです。
- ・調査活動では写真撮影・インタビューを行う場合があります。マナーを守り、個人情報には十分配慮してください。
- ・学生どうしで助け合いながら活動する姿勢が求められます。

【実習にかかる費用】

- ・交通費（現地までの往復交通費、現地移動費）
- ・入場料（寺社や施設の拝観料など）
- ・昼食代などの個人経費

※おおむね 数千円（～1 万円以内）を想定してください。交通費についての一部補助があります。

詳細は事前に案内します。



【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員：寺岡伸悟 専門分野：観光社会学	＜この文化観光フィールド演習の特徴＞ ・話し合い、プレゼン、資料調べなどの基本的な作業と、学外にでていく調査・視察を体験する。 ・京都の伝統産業・地場産業を知る。
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

・京都の伝統工芸や地場産業はたくさんあります。またそれらを紹介する施設もたくさんあります。そうしたものの存在を知りたい学生、それらのうちのいくつか調べて訪問したい学生を対象とした演習となります。

【受講するうえで、守るべきこと】

・演習（ゼミ）やフィールド調査（実習）は、積極的な対話とともに、協調性が大切です。自分の意見を各々が主張する、気に入らない結果になったら協力しない、では演習は成立しません。またこれは社会でも同じです。受講する人には、こうした協調性、自分が不本意な結果になっても、それがうまく進むようにベストを尽くす姿勢を求めます。

【スケジュール】

この演習は以下のような流れで進めます。

- ・受講者の自己紹介とこの演習の狙い・主旨のあらためての説明
- ・京都の伝統産業・地場産業についての検索
- ・上記を受講生が順番に発表・紹介する。
- ・それと並行して、学外実習の日を決める。訪問日は土日も含めて考える。
- ・実習訪問先を選定する（2箇所程度を想定）
- ・実習として訪問する
- ・訪問した際の経験について、ディスカッションなどしながら振り返る。
- ・レポートを書いて提出してもらう。

【注意事項・その他】

- ・演習受講生のLINEグループを作りますので参加してください。
- ・なんらかの事情での欠席などは、かならず事前に（直前までに）LINEで皆に知らせてください。

【実習にかかる費用】

- ・訪問先は京都市内に限定します。しかし、行き帰りの交通費がかかりますし、もし入館料などが必要な施設になった場合には、入館料を負担していただく必要があります。

【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員：中野 宏幸	<この文化観光フィールド演習の特徴> 京都の寺社や自治体、地域の方々への訪問、ガイド活動への参加を含む 「まちあるき」を通じ、京都と観光の取組を体験 していきます。京都の魅力が多様な「まなざし」でとらえ、街をみる感性を磨きつつ、これからの交流や地域づくりの取組を考えてみましょう。
定員		
約 15 名	専門分野：観光人類学、観光産業、都市・社会基盤学	

【このような学生におすすめです】

歴史・伝統文化、地域の生活や産業、ヒトの流れや交通の機能、地域を支える仕組み・行政など、多面的に地域に接し、街への理解を深めていこうとするクラスです。次のような方にお勧めします。

- ・ **まず「街」を探索してみよう**と思う、「**まちあるき**」が好きな人。
- ・ 自分で実際に見て、聞いて感じとることが大切と思っている人。
- ・ **「どこが変わってきているのか」「それはなぜなのか」**考えながら、新しいものを発見しようとする人。変化を感じ取りつつ、何かできないか、意欲的に考える人。

【受講するうえで、守るべきこと】

- ・ 交通安全対策を含め、フィールドワークのルールを守ってください。
- ・ グループでコミュニケーションをよく図り、協力して取り組みましょう。

【スケジュール】

- 第1回 (4/10 (金)) ガイダンスと各自の自己紹介
 第2回 (4/17 (金)) 講義 (事前準備) とグループ学習
 第3回 (4/25 (土)) [フィールドワーク] **五条界隈のまちあるきと街の移り変わりの探索**
 第4回 (4/26 (日)) [フィールドワーク] **清水寺訪問と懇談**
 第5回 (5/1 (金)) **「見方」「聞き方」「まとめ方」に関する基本的学びと活動の振り返り**
 第6回 (5/9 (土)) [フィールドワーク] **平安神宮、南禅寺方丈庭園など岡崎地区のまちあるき、「禅」を含む訪日外国人への英語によるガイド活動・体験に関するガイドとの懇談**
 第7回 (5/23 (土)) [フィールドワーク] **詩仙堂と金福寺訪問、歴史文化の学び**
 第8回 (5/29 (金)) 講義 (事前準備) とグループ学習
 第9回 (6/12 (金)) フィールドワークの整理とグループ討議
 第10回 (6/13 (土)) [フィールドワーク] **東山のまちあるき (建仁寺、六波羅蜜寺や六道珍皇寺など寺社訪問、東山区役所の観光の取組把握)**
 第11回 (6/20 (土)) [フィールドワーク] **赤山禅院訪問と懇談**
 第12回 (6/27 (土)) [フィールドワーク] **京都駅訪問と企業 (JR 西日本) との懇談**
 第13回 (7/3 (金)) **観光の行政担当者 (国土交通省近畿運輸局観光部) とのワークショップ**
 ※) この授業後、オンデマンド授業の代替措置としてフィールドワーク等を踏まえたレポートの作成と発表の準備を行います。
 第14回 (7/10 (金)) 発表と総括

【注意事項・その他】 フィールドワークの日時を含めて授業内容や形態・方法は、状況により変更となることがあります。訪問先の方々の貴重な時間をいただき、質疑や懇談の時間を設けるので、事前に質問やコメントの準備をしておいてください。事前に関係の情報収集をするなど、主体的にのぞんでください。フィールドワークは、土日に行います。

【実習にかかる費用】

拝観料 <2025年度のフィールドワーク
 : 建仁寺 (左)、六道珍皇寺 (右) >
 2025年度のフィールドワークについては以下のキャンパスフラッシュをみてください。

<https://www.kyoto-su.ac.jp/news/news-001155.html>



【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員： 前田 尚武	<p><この文化観光フィールド演習の特徴> 京都の明治から現代までのモダン建築を歩いて巡るフィールドワーク型演習。一級建築士/キュレーターの教員の解説で建築の「時間の美・空間の美」を体感し、リサーチ・文章・撮影・発信など実践的な編集力も磨きます。</p>
定員		
約 15 名	専門分野： 建築文化、ミュージアム計画	
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築、空間デザイン、京都の街並みに興味・関心がある。 ・ 実際に現地を歩き、自分の目で体験しながら学びたい。 ・ 写真撮影・文章執筆・デザインなどクリエイティブなことに挑戦したい。 ・ 自分の考えを言葉や写真で表現・発信することに挑戦したい。 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <p>◎フィールドワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土日・休日に3コマ連続（約4時間半）で実施する。欠席の場合は代替課題を課す。 ・ スマートフォンとモバイルバッテリー（4時間半以上稼働するもの）を持参すること。 ・ 動きやすく良識ある服装で参加し、安全に配慮し、教員の指示に従うこと。 ・ 教材『モダン建築の京都 100』（石田潤一郎・前田尚武 編著）を持参し参加すること。 <p>【スケジュール】</p> <p>第1回 講義 ガイダンス 第2回 講義 建築鑑賞のすすめ：建築を鑑賞する基本的ポイント 第3-5回 フィールドワーク1 京都市役所界限と三条通りツアー 第6回 講義 フィールドワーク1の記事をプレゼンテーション 第7-9回 フィールドワーク2 祇園界限ツアー 第10回 講義 フィールドワーク2の記事をプレゼンテーション 第11-13回：フィールドワーク3 京都駅界限ツアー 第14回 講義 フィールドワーク3の記事をプレゼンテーション 第15回 講義 振り返りと総評</p> <p>【注意事項・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドワークは、悪天候の場合、ミュージアム鑑賞などに変更する場合がある。 ・ 各授業後には3日以内にリアクションペーパーを提出すること。 ・ 講義日はPCを必ず持参し、積極的にメモを取ること。 ・ 授業回数数の3分の2以上の出席が必須（5回以上の欠席は成績評価対象外となる） ・ 情報共有、欠席連絡、教員や参加者同士の連絡にはSlackを活用する。 ・ オンデマンド授業の代替として、フィールドワークを実施する。 <p>【実習にかかる費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館料等がかかる場合がある。 		

【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員： 山本 芳華	<この文化観光フィールド演習の特徴> この授業では、「茶」をテーマに京都および日本の文化観光について学びます。この授業では、日本における「茶」の現状を理解して、「茶」がどのように文化や観光に結び付いているのか、さらには将来的に「茶」を資源として持続可能な観光のあり方を考えます。五感を使って茶を体感することを通じて、自分たちが考える茶と文化観光のあり方について表現できる力を養います。
定員		
約 15名		

【このような学生におすすめです】

- ・お茶を飲むのが好きな人
- ・抹茶スイーツなどお茶を使った食べ物に興味がある人
- ・茶道をはじめとした日本の茶文化に興味のある人
- ・みんなで楽しくお茶を囲んで仲良くおしゃべりしたい人
- ・「茶」についてちょっと詳しくなりたい人

*授業の中で様々なお茶をみんなで楽しむ予定です。こうした茶を囲む時間を大切にできる仲間を募ります。



【受講するうえで、守るべきこと】

この授業では、「茶」にかかわる様々な出会いがあります。一期一会の精神をもって、貴重な機会を活かせるように真摯かつ積極的に学びましょう。「茶」というテーマを通じて、参加者全員が互いを尊重し、気持ちよく互いに学べる場を創り出すことも狙いの一つです。授業内では、自主的にメモなどをとり、最終回のプレゼンに生かしてください。チームワークで様々な調査を行います。互いに良いところを認め合い、高めあうことを心がけてください。また、授業内に客人が来られる場合には、尊敬をもって温かく迎えましょう。

【スケジュール】

- 第1回 オリエンテーション 自己紹介、演習内容
 - 第2回 茶と文化観光のかかわり
 - 第3回 日本茶を取り巻く現状と課題
 - 第4回 日本茶と文化
 - 第5回 茶道とおもてなし文化
 - 第6回 観光資源としての日本茶 1
 - 第7回 観光資源としての日本茶 2
 - 第8回 (講義) 中間まとめ
 - 第9回 国際的な視点から見た日本茶
 - 第10回 京都における日本茶と文化観光
 - 第11回 京都の日本茶と文化観光のありかた (調査①)
 - 第12回 京都の日本茶と文化観光のありかた (調査②)
 - 第13回 京都の日本茶と文化観光のありかた (調査③)
 - 第14回 成果発表会
- ★オンデマンド講義 日本茶にかかわる実務家からの講義



【注意事項・その他】

授業内で茶のテイスティングをする場合や茶を使った食べ物などの飲食を行うことを予定しています。自分のアレルギー対象品目などを十分把握して、自己責任での飲食を行ってください。

【実習にかかる費用】

授業内の体験実費として2~3000円程度を負担してもらう場合があります。また、課題として課される調査のための交通費等が必要となる場合があります。

【文化観光フィールド演習】

クラス	担当教員：若村亮	<p>＜この京都文化フィールド演習の特徴＞</p> <p>京都の奥深い歴史や社寺史跡の魅力を学ぶだけではなく、観光ツアーとして商品化するノウハウや、観光ガイドツアーの実践を通して、実際の観光業界に触れることができる演習を実施します</p>
定員		
約 15 名		
	専門分野：着地型学習観光学	
<p>〔このような学生におすすめです〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の奥深い歴史や社寺史跡を巡ることが好きな人 ・観光ツアー（社寺史跡を歩いて巡る着地型ツアー）の企画立案のポイントを学びたい（現地で実施するフィールドワークのコースを学生自らで検討・調査して決定する） ・観光ツアーにおける商品力や付加価値を高めるポイントを学びたい ・観光ツアーに欠かせない観光ガイドを通じたプレゼンテーション能力を高めたい人（現地で実施するフィールドワークでは拝観する社寺の観光ガイドにもチャレンジ） <p>〔受講するうえで、守るべきこと〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【現地】でのフィールドワークは、歩きやすい観光に適した服装や靴で参加すること ・【現地】でのフィールドワークは、社寺の文化財保護への配慮や注意を怠らないこと <p>〔スケジュール〕</p> <p>①【大学】講義 4/16（木）16:45～18:15</p> <p>≪ フィールドワーク① ≫</p> <p>②③④【現地】フィールドワーク① 4/18（土）13:00～17:00 頃</p> <p>⑤【大学】講義 4/30（木）16:45～18:15</p> <p>≪ フィールドワーク② ≫</p> <p>⑥【大学】講義 5/14（木）16:45～18:15</p> <p>⑦⑧⑨【現地】フィールドワーク② 5/17（日）13:00～17:00 頃</p> <p>⑩【大学】講義 5/28（木）16:45～18:15</p> <p>≪ フィールドワーク③ ≫</p> <p>⑪【大学】講義 6/4（木）16:45～18:15</p> <p>⑫⑬⑭【現地】フィールドワーク③ 6/7 または 6/14（日）13:00～17:00 頃</p> <p>⑮【大学】講義 6/18（木）16:45～18:15</p> <p>〔注意事項・その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【大学】での講義は木曜日5限を予定 ・【現地】でのフィールドワークは土曜または日曜の午後を予定 <p>〔実習にかかる費用〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拝観する社寺史跡の拝観料や入場料など 		